

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公開番号】特開 2017-109034 (P2017-109034A)
 【公開日】平成 29 年 6 月 22 日 (2017.6.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2017-023
 【出願番号】特願 2015-247638 (P2015-247638)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 25 日 (2019.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立に基づいて、生成された乱数から乱数値を始動情報として取得し、当該取得された始動情報に基づいて抽選を実行するとともに、動的表示を実行可能とし、前記抽選の結果に基づいて遊技者に利益を付与する特別遊技状態に制御する遊技機であって、
 前記特別遊技状態には、遊技者に付与する利益が異なる複数の特別遊技状態を備え、
 第 1 始動口への通過を契機として動的表示を開始する第 1 動的表示手段と、
 第 2 始動口への通過を契機として動的表示を開始する第 2 動的表示手段と、
 前記第 1 始動口又は前記第 2 始動口への通過を契機として前記動的表示が開始されるまでに所定数を限度として前記始動情報を記憶する保留記憶手段と、
 前記保留記憶手段とは異なり、前記始動情報を一時的に記憶する始動情報記憶手段と、
 前記第 1 動的表示手段の動的表示の開始時に、前記動的表示を開始する始動情報を前記保留記憶手段から前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記抽選を実行する第 1 動的表示時抽選判定手段と、
 前記第 1 動的表示手段の動的表示の開始時に、前記動的表示を開始する始動情報を前記保留記憶手段から前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて動的表示パターンテーブルから動的表示の種類を選択する第 1 動的表示時変動種別判定手段と、
 前記第 1 動的表示手段の動的表示の開始時に、前記動的表示を開始する始動情報を前記保留記憶手段から前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記複数の特別遊技状態のうちの何れかの特別遊技状態に対応する特別遊技情報を選択する第 1 動的表示時図柄種別判定手段と、
 前記第 2 動的表示手段の動的表示の開始時に、前記動的表示を開始する始動情報を前記保留記憶手段から前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記抽選を実行する第 2 動的表示時抽選判定手段と、
 前記第 2 動的表示手段の動的表示の開始時に、前記動的表示を開始する始動情報を前記保留記憶手段から前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて動的表示パターンテーブルから動的表示の種類を選択する第 2 動的表示時変動種別判定手段と、
 前記第 2 動的表示手段の動的表示の開始時に、前記動的表示を開始する始動情報を前記

保留記憶手段から前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記複数の特別遊技状態のうちの何れかの特別遊技状態に対応する特別遊技情報を選択する第2動的表示時図柄種別判定手段と、

前記第1動的表示手段の動的表示が開始される前に、前記始動情報を前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記抽選を実行する第1事前抽選判定手段と、

前記第1動的表示手段の動的表示が開始される前に、前記始動情報を前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて動的表示パターンテーブルから動的表示の種類を選択する第1事前変動種別判定手段と、

前記第1動的表示手段の動的表示が開始される前に、前記始動情報を前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記複数の特別遊技状態のうちの何れかの特別遊技状態に対応する特別遊技情報を選択する第1事前図柄種別判定手段と、

前記第2動的表示手段の動的表示が開始される前に、前記始動情報を前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記抽選を実行する第2事前抽選判定手段と、

前記第2動的表示手段の動的表示が開始される前に、前記始動情報を前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて動的表示パターンテーブルから動的表示の種類を選択する第2事前変動種別判定手段と、

前記第2動的表示手段の動的表示が開始される前に、前記始動情報を前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記複数の特別遊技状態のうちの何れかの特別遊技状態に対応する特別遊技情報を選択する第2事前図柄種別判定手段と、

を備え、

前記第1動的表示時抽選判定手段と前記第1事前抽選判定手段は、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記抽選を実行する処理が共通であり、かつ、前記第2動的表示時抽選判定手段と前記第2事前抽選判定手段は、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記抽選を実行する処理が共通であり、

前記第1動的表示時変動種別判定手段と前記第1事前変動種別判定手段は、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記動的表示の種類を選択する処理と動的表示パターンテーブルが共通であり、かつ、前記第2動的表示時変動種別判定手段と前記第2事前変動種別判定手段は、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記動的表示の種類を選択する処理と動的表示パターンテーブルが共通であり、

前記第1動的表示時図柄種別判定手段と前記第1事前図柄種別判定手段は、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記複数の特別遊技状態のうちの何れかの特別遊技状態に対応する特別遊技情報を選択する処理が共通であり、かつ、前記第2動的表示時図柄種別判定手段と前記第2事前図柄種別判定手段は、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記複数の特別遊技状態のうちの何れかの特別遊技状態に対応する特別遊技情報を選択する処理が共通であり、

前記第1動的表示時抽選判定手段と前記第1事前抽選判定手段において前記抽選を実行する処理と、前記第2動的表示時抽選判定手段と前記第2事前抽選判定手段において前記抽選を実行する処理も共通であり、

前記第1動的表示時変動種別判定手段と前記第1事前変動種別判定手段において前記動的表示の種類を選択する処理と、前記第2動的表示時変動種別判定手段と前記第2事前変動種別判定手段において前記動的表示の種類を選択する処理も共通であり、

前記第1動的表示時図柄種別判定手段と前記第1事前図柄種別判定手段において前記複数の特別遊技状態のうちの何れかの特別遊技状態に対応する特別遊技情報を選択する処理と、前記第2動的表示時図柄種別判定手段と前記第2事前図柄種別判定手段において前記複数の特別遊技状態のうちの何れかの特別遊技状態に対応する特別遊技情報を選択する処理も共通である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

遊技媒体が始動領域を通過することで始動情報を取得し、当該始動情報に基づいて抽選を実行するとともに当該抽選結果に基づいて図柄を動的表示させ、図柄の停止結果が所定の態様となった場合に所定の遊技価値を付与する遊技機が知られている。このような遊技機には、図柄の動的表示を開始する前に図柄の停止結果が所定の態様となる期待度を事前に判定し、遊技者に報知する演出が実行されるものが知られている（例えば、特許文献1参照）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献 1】特開 2011 - 136047 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

上記した遊技機では、動的表示の開始時及び事前判定時に抽選を実行する。しかしながら、抽選の実行タイミングによって異なる始動情報を参照する必要があるため、抽選結果を判定するタイミングなどに応じた処理を設けなければならなくなり、遊技制御が複雑化するおそれがあった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明が解決しようとする課題は、上記事情に鑑みなされたもので、遊技制御の複雑化を抑制することである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の遊技機の代表的な一形態では、所定条件の成立に基づいて、生成された乱数から乱数値を始動情報として取得し、当該取得された始動情報に基づいて抽選を実行するとともに、動的表示を実行可能とし、前記抽選の結果に基づいて遊技者に利益を付与する特別遊技状態に制御する遊技機であって、前記特別遊技状態には、遊技者に付与する利益が異なる複数の特別遊技状態を備え、第 1 始動口への通過を契機として動的表示を開始する第 1 動的表示手段と、第 2 始動口への通過を契機として動的表示を開始する第 2 動的表示

手段と、前記第 1 始動口又は前記第 2 始動口への通過を契機として前記動的表示が開始されるまでに所定数を限度として前記始動情報を記憶する保留記憶手段と、前記保留記憶手段とは異なり、前記始動情報を一時的に記憶する始動情報記憶手段と、前記第 1 動的表示手段の動的表示の開始時に、前記動的表示を開始する始動情報を前記保留記憶手段から前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記抽選を実行する第 1 動的表示時抽選判定手段と、前記第 1 動的表示手段の動的表示の開始時に、前記動的表示を開始する始動情報を前記保留記憶手段から前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて動的表示パターンテーブルから動的表示の種類を選択する第 1 動的表示時変動種別判定手段と、前記第 1 動的表示手段の動的表示の開始時に、前記動的表示を開始する始動情報を前記保留記憶手段から前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記複数の特別遊技状態のうちの何れかの特別遊技状態に対応する特別遊技情報を選択する第 1 動的表示時図柄種別判定手段と、前記第 2 動的表示手段の動的表示の開始時に、前記動的表示を開始する始動情報を前記保留記憶手段から前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記抽選を実行する第 2 動的表示時抽選判定手段と、前記第 2 動的表示手段の動的表示の開始時に、前記動的表示を開始する始動情報を前記保留記憶手段から前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて動的表示パターンテーブルから動的表示の種類を選択する第 2 動的表示時変動種別判定手段と、前記第 2 動的表示手段の動的表示の開始時に、前記動的表示を開始する始動情報を前記保留記憶手段から前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記複数の特別遊技状態のうちの何れかの特別遊技状態に対応する特別遊技情報を選択する第 2 動的表示時図柄種別判定手段と、前記第 1 動的表示手段の動的表示が開始される前に、前記始動情報を前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて動的表示パターンテーブルから動的表示の種類を選択する第 1 事前変動種別判定手段と、前記第 1 動的表示手段の動的表示が開始される前に、前記始動情報を前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記複数の特別遊技状態のうちの何れかの特別遊技状態に対応する特別遊技情報を選択する第 1 事前図柄種別判定手段と、前記第 2 動的表示手段の動的表示が開始される前に、前記始動情報を前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記抽選を実行する第 2 事前抽選判定手段と、前記第 2 動的表示手段の動的表示が開始される前に、前記始動情報を前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて動的表示パターンテーブルから動的表示の種類を選択する第 2 事前変動種別判定手段と、前記第 2 動的表示手段の動的表示が開始される前に、前記始動情報を前記始動情報記憶手段に一時的に記憶し、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記複数の特別遊技状態のうちの何れかの特別遊技状態に対応する特別遊技情報を選択する第 2 事前図柄種別判定手段と、を備え、前記第 1 動的表示時抽選判定手段と前記第 1 事前抽選判定手段は、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記抽選を実行する処理が共通であり、かつ、前記第 2 動的表示時抽選判定手段と前記第 2 事前抽選判定手段は、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記抽選を実行する処理が共通であり、前記第 1 動的表示時変動種別判定手段と前記第 1 事前変動種別判定手段は、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記動的表示の種類を選択する処理と動的表示パターンテーブルが共通であり、かつ、前記第 2 動的表示時変動種別判定手段と前記第 2 事前変動種別判定手段は、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記動的表示の種類を選択する処理と動的表示パターンテーブルが共通であり、前記第 1 動的表示時図柄種別判定手段と前記第 1 事前図柄種別判定手段は、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記複数の特別遊技状態のうちの何れかの特別遊

技状態に対応する特別遊技情報を選択する処理が共通であり、かつ、前記第２動的表示時図柄種別判定手段と前記第２事前図柄種別判定手段は、前記始動情報記憶手段に記憶した始動情報に基づいて前記複数の特別遊技状態のうちの何れかの特別遊技状態に対応する特別遊技情報を選択する処理が共通であり、前記第１動的表示時抽選判定手段と前記第１事前抽選判定手段において前記抽選を実行する処理と、前記第２動的表示時抽選判定手段と前記第２事前抽選判定手段において前記抽選を実行する処理も共通であり、前記第１動的表示時変動種別判定手段と前記第１事前変動種別判定手段において前記動的表示の種類を選択する処理と、前記第２動的表示時変動種別判定手段と前記第２事前変動種別判定手段において前記動的表示の種類を選択する処理も共通であり、前記第１動的表示時図柄種別判定手段と前記第１事前図柄種別判定手段において前記複数の特別遊技状態のうちの何れかの特別遊技状態に対応する特別遊技情報を選択する処理と、前記第２動的表示時図柄種別判定手段と前記第２事前図柄種別判定手段において前記複数の特別遊技状態のうちの何れかの特別遊技状態に対応する特別遊技情報を選択する処理も共通であることを特徴とする。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明の一形態によれば、遊技制御に係る処理を共通化し、遊技制御の複雑化を抑制することができる。